

8月 **3日** 選手、スタッフ、観客が手を携え成功させた  
**釜石はまゆりトライアスロン大会**  
 【鵜住居町根浜海岸周辺】

釜石を象徴するスポーツ大会の一つ「釜石はまゆりトライアスロン大会」が、市内外の多くの人たちの支援により、4年ぶりに「スイム（水泳）」「バイク（自転車）」「ラン（長距離走）」の3種目で復活しました。競技の距離は震災前の半分と規模を縮小しての開催でしたが、北は青森県から南は岡山県まで全国から約130人が参加。選手は炎天下の中、いまだ震災の爪跡が残るコースを力いっぱい走り抜け、その姿に沿道のボランティアや観客が温かい声援を送りました。2016年の「いわて国体」ではトライアスロン競技の会場になっている同地区。2年後の国体成功に向け、大きな弾みとなりました。



声を掛けたり大漁旗を振ったりして選手を応援する沿道の人たち(上)と、ゴールの瞬間を共に喜ぶ選手(右)



2011年に撮影された根浜海岸の様子。がれきには、「いつの日かこの地で必ずトライアスロンをやろう!がんばろう釜石!!」と書かれている。震災当時、根浜地区へ訪れたボランティアが記したもの。



**復活!** 夏を彩った釜石の熱い話題  
 Check it! ホームページの「かまいし徒然日記」にも写真を掲載します。

復活したお囃子隊



雨に負けず元気に踊る子供よいさ



8月 **9日** 雨の中熱気に包まれた  
**釜石よいさ**  
 【大町特設会場】

昨年9月に復活した釜石よいさが、今年は震災前と同じ8月開催となり、夏の風物詩として帰ってきました。今年の目玉は、中学生から社会人までの総勢40人が2カ月近い練習を経て復活させたお囃子隊。大太鼓、小太鼓、横笛、ジャガネの迫力あるお囃子が、震災後初めて釜石の街に響き渡りました。当日は台風の影響で雨が降ったりやんだり不安定な天気でしたが、県内外から27団体、約1400人が参加し、「さーさ、よいやっさ」の元気な掛け声と共に釜石の夏を熱く盛り上げました。

パレードの様子



健康づくり、運動不足解消に  
**第40回釜石健康マラソン大会**

日 時	10月11日(土) 7時50分受付開始
会 場	市球場周辺コース(※旧市陸上競技場)
種 目	①幼児の部 男女の部(約400m) ②1.5kmの部 小学男女低学年(1・2年生)の部 ふれあい・親子の部 ③2.3kmの部 小学男女中学年(3・4年生)の部 ④3.2kmの部 小学男女高学年(5・6年生)の部 中学高校男女の部 一般男女の部 ⑤リレーの部 小学生対象・4人1組(200m×4人) ※参加申込と別にリレーの部の申し込みが必要です。
参加料	一般:1,500円 小中高生:1,000円 幼児:800円 ふれあい・親子の部:一人あたり600円
申込方法	市内スポーツ店、各地区生活応援センター、市内郵便局に備え付けの申し込み用紙に記入し、参加料を添えて郵便局へ ※学校やスポーツ少年団などの団体、リレーの部の申し込みは市スポーツ推進課で受け付けます。
申込期限	9月22日(月)
問い合わせ	市スポーツ推進課 ☎22-8836

高低差厳しい峠路に挑む  
**第5回かまいし仙人峠マラソン大会**

期 日	10月26日(日) 受付8時 開会式9時 スタート ①峠コース…10時15分 ②10kmコース…10時25分
会 場	旧釜石鉱山事務所周辺コース(大橋)
種 目	①峠コース(17.2km・標高差約400m) ②10kmコース(標高差約160m)
参加資格	10月26日現在で満16歳以上の男女
参加料	一般:3,500円、高校生:2,000円
申し込み	9月25日(木)までに、所定の申し込み用紙に記入し、参加料を添えて郵便局へ、または、インターネット携帯サイト( <a href="http://runnet.jp">http://runnet.jp</a> )から申し込み ※申し込み用紙は、体育協会、市第一庁舎1階受付、市教育センター(1階窓口およびスポーツ推進課)、各地区生活応援センターにあります。
問い合わせ	かまいし仙人峠マラソン大会実行委員会事務局(釜石市体育協会 ☎23-1061)

出場者を募集します

メガソーラー発電所  
 市内で初めて設置へ

メガソーラー発電所の完成イメージ図

日鉄鉱業(株)が甲子町に整備する「釜石鉱山メガソーラー発電所」の起工式が、7月14日現地で行われました。発電所は、同社が所有する旧大松社宅跡地(約5ヘクタール)に9080枚のソーラーパネルを設置するもので、発電能力は約2メガワット、予想発電量は年間約220万キロワット時で、一般家庭約500世帯分の電気使用量に相当します。メガソーラー発電所の建設

は市内初めてで、運転開始は今年12月を予定しています。市では、東日本大震災の大規模停電の経験から、エネルギーの安定供給と災害時の供給力向上に向け、多様なエネルギー資源を活用したスマートコミュニティの実現に取り組んでいます。メガソーラー発電所の設置により、再生可能エネルギーを活用した新たな産業創出やエネルギー供給拠点の形成促進など、復興を後押しするものと期待が高まっています。

メガソーラー発電所とは…  
 発電出力が1メガワット(1000キロワット)以上の大規模な太陽光発電所のこと。

人権擁護委員に  
 佐藤さんを委嘱



佐藤力(つとむ)さん。中妻町IIが、法務大臣から7月1日付で人権擁護委員として委嘱されました。任期は3年間です。

人権擁護委員は、わたしたちの基本的な人権が侵されないように監視し、万が一侵犯されたときは、救済のための適切な処置をとり、人権思想の普及高揚に努めることなどを任務としています。家庭内や職場、学校での問題などお気軽にご相談ください。佐藤さんを含む当市の6人の人権擁護委員は次のとおりです。

- 当市の人権擁護委員(敬称略)
- ・加納 由紀子(野田町)
  - ・川原 清文(唐丹町)
  - ・藤原 昌教(橋野町)
  - ・中田 テエ子(浜町)
  - ・佐々木 八重子(甲子町)
  - ・佐藤 力(中妻町)
- 問い合わせ  
 市市民課(内線207)